

1日付で副院長から病院長に就任。地域の中核病院に対する住民の期待は大きく、「重責に身が引き締まる思い」と心境を語る。

ひと

神奈川県茅ヶ崎市出身。中学時代に父をがんで失い、その病院見舞いの中で医療に興味を持ったのが医師を志すきっかけとなつた。



金井 洋さん
かない ひろし

「患者が納得する医療を」

東京医科大を卒業後、医局で整形外科医として活躍してきた。医師として大切にしてきたのはインフォームド・コンセント。「難しい専門用語は極力避け、分かりやすい言葉で丁寧に説明すること。医療行為は患者に十分納得してもらつた上で行わなければならぬ」と強調する。

熱海所記念病院では派遣医として1992年から1年間勤務。その後、現在の法人に移り、2度目の赴任となつた99年から整形外科

部長、副院長を務めながら診療、手術などに携わっている。

「熱海の高齢化率は県内支部トップの45%。単身世帯も多く、治療や入院を周囲に相談できない人は少なくない。院内の医療相談室と医療連携室を通じて高齢者の不安や負担を軽減し、在宅での療養や社会復帰を手助けしていきたい」

趣味は古物収集。「ネットオークションでお宝を競り落すのが楽しみ」と頬を緩めた。56歳。梅園町。